

真夏の太陽が照りつける八月十五日、大事な放送が正午からあると、ラジオの前に不動の姿勢で座りました。ラジオのない家では、ラジオを持つている家で聞きました。

ラジオから流れてきたのは、昭和天皇が終戦を告げる内容の放送でした。

「放送を聞いて力が抜けました。二学期から授業はどうなるのだろうか不安になりました」と話す河合さんは、自宅でこの放送を聞いていました。

同じく、市内で終戦を知った江尻さんは、「何とも言えない気持ちでした。この先どうなるか心配になりました」と話していました。

神藤さんは、「熊谷が空襲でやられて、次は川越かと思ったので、戦争が終わってほっとしました」と子ども心に感じたそうです。



昭和天皇の終戦の詔書を河合さんが写した物。録音が終戦前日の8月14日に行われ、翌日にラジオで流されました

海軍にいた小林さんは、配属先の佐原市でこの日を迎えて、「戦争が終わったことを知って、ぼう然とした。この先、どうやって食べていくか考えま

した」。

萱沼にあった浅野カーリットは、空襲や機銃掃射などの攻撃が加えられることはなかったそうです。

黒須（博）さんは、終戦から三日後に家に戻ってきました。

「工場は稼働をやめ、敷地内にあった陶製の手りゅう弾や地雷を粉々にして、近くの旧荒川に捨てました」と黒須（博）さん。

今回話を伺った方の中で、戦場で終戦を迎えたのは、中国の漢口（現在の武漢市）にいた黒須（静）さんです。

「勝つつもりで出征しましたが、負けてがっかりしました。私たちは神風が吹くと教育を受けていましたから。でも、国内にいた人たちが、生活はたいへんだったのではないでしょうか」と静かな口調で話していました。

戦後しばらく、物資不足は続きました。浅野カーリットの敷地内の建物は、建築物不足のため、ほかの建物に転用され、土地は地域の人たちに分譲されました。

小林さんは自宅で綿の販売をしていたので、その綿を持って、タイヤに空気の入っていない自転車をこいで、物々交換に出かけていきました。

「物々交換ができるのは、まだいい方ですね。食べる物がなく、カボチャがたまに配給され、それがごはん代わりでしたから」。

物資の不足が解消されるのは、昭和

平和標語審査結果

平成十七年度平和標語を募集したところ、市内小中学校の児童生徒から二百九件の応募がありました。審査の結果、次の標語が入賞しました。

金賞
ぼくたちが 미래의平和を つくるんだ
鈴木滉平・新宿小学校六年

銀賞
考えよう 平和の尊さ 大切さ
石嶋美沙紀・高階小学校六年
手をつなぎ みんなでさかそう 平和の花
前島孝成・南古谷小学校五年

銅賞
信頼と 理解が作る 世界の平和
小池翔太・南古谷小学校六年
育てよう 一人一人の 平和の芽
小池亜希・東中学校三年
つなげよう 平和の心 愛する思い
宮本春菜・砂中学校一年

問い合わせ：総務課総務係・内線2211

そして、未来へ

二十年代も半ばになってからでした。今回の企画記事は、六十年前に川越で起こっていた出来事の一部を市民の皆さんに紹介しました。

戦争が終わって六十年がたちます。今回取材をした皆さんは、口々に「平和がいちばんだ」と語っていました。

今年度の平和標語で、「ぼくたちが

みらいの平和をつくるんだ」という作品が金賞に選ばれました。

六十年前の時代を経験した皆さんが、今の日本の礎を築きました。標語にあるように、これから未来の平和を築いていくのは私たちです。戦争を風化させずに平和な世界を作っていくために、市民の皆さんも、もう一度平和についてお考えください。

問い合わせ：広聴広報課広報担当・TEL 内線2124

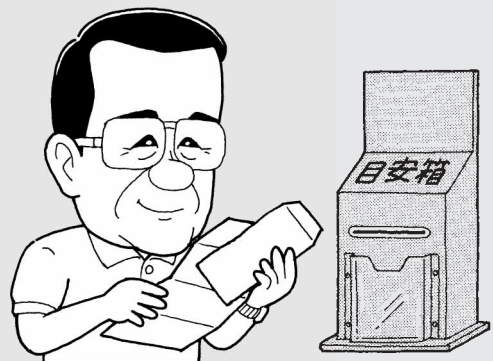
平和標語金賞受賞の鈴木滉平くん

金賞の知らせを聞いてうれしかったです。標語は、平和な世界が作ればいいなと思って考えました。

戦争のころの話は、テレビで見たり、話を聞いたりして知っていました。戦争をしてはいけないと思います。



舟橋市長に提案 No.122



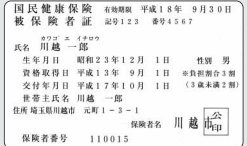
健康保険証を1人1枚のカードにしてください

提案要旨（市民目安箱）

健康保険証が家族で1枚というのは、とても不便です。国民健康保険に加入すると、家族で1枚の保険証を使うことになり、毎月初めに不便を感じます。1人1枚のカードにしてください。

回答

川越市国民健康保険では、原則として1世帯に1枚の被保険者証（健康保険証）を交付することとされていました。そのため、ご指摘にあるとおり、同じ世帯の被保険者の方が同じ日に別の医療機関などに通院するときや、旅行などで出かける場合には、たいへんご不便をおかけしていることと認識しておりました。



キャッシュカードと同じ大きさになります

そこで市では、多くの皆さんからのご要望にお応えして、被保険者の利便性の向上を図るために、10月1日の一斉更新から、健康保険証を「1人1枚の個人カード」にすることにいたしました。

健康保険証が「個人カード」になると、個人で携帯できる利点がある反面、紛失しやすくなることが予想されます。健康保険証は、国民健康保険の被保険者であることの証明書で、個人カードになっても大切な物であることに変わりはありません。紛失には、十分ご注意ください。

なお、健康保険証の一斉更新および個人カード化につきましては、9月10日発行の広報川越でお知らせする予定になっております。

このことについては、国保年金課国保資格係・TEL内線2479にお尋ねください。

私は、色々な花を咲かせるのを楽しんでいます。沖繩のデイゴの花と同じように咲き始めました。昨年暮れにスーパーで買った食用のゆり根を食べないで大事に保管し、春に一球植えてみましたところ、六月に沢山のつぼみをつけ次々と開花。何と一本のゆりに三十七個の花を咲かせました。余りに珍しいので写真を



撮りました。
猪鼻美智子（一部省略）
■ 広報川越から
送っていただいた写真はこちらです。

息子が一歳半の頃、友人に誘われて、市内の園にサツマイモ掘りに出かけたことがありました。季節の話題を、ありがたうございました。

食用ユリは、日本で古くから栽培されてきました。球根の大きさが生育のよさによって、たくさんのお花を咲かせることができるようです。

■ 広報川越から
気持ちいいと感じた土は、サツマイモにとっても、きっと気持ちがいいはず。自分で掘ったサツマイモは、買った物よりおいしく感じられたのでは？ 久しぶりに芋掘りに行ってみたい。



Duet

デュエット

広報川越へのご意見・ご感想を紹介するコーナーです

あて先 TEL 350-8601 川越市役所広聴広報課「デュエット係」
FAX 225-2895 Eメール info@city.kawagoe.saitama.jp
*必ず住所・氏名・年齢・電話番号をご記入ください。
*匿名・ペンネーム希望の場合は、その旨を明記してください。